

#### ④地域ヒアリング

地域住民や各種団体などと直接面会し、話を聞くことで、市民が抱える課題やニーズ、意見や提案などを把握することができる方法。

手法のメリット	手法のデメリット
①積極的に市民の意見を聴くことができる ②市民の意見を、多く聴くことができる ③より深い意見や提案を聴くことができる ④行政と市民の信頼関係の構築が期待できる（顔の見える行政）	①特定の団体や、事案に関係する団体以外の市民の意見が取り入れにくい ②聴き手が、聴取するテーマや課題を統一していないと、異なる意見の集約になってしまう
■地域ヒアリング手続を行うことが適している場合	
①極めて早い段階から市民参画手続を行うことが適当と認められる場合	
②あらゆる団体から、意見やニーズを把握したい場合	
③特定の関係者から意見やニーズを把握したい場合	